

# 日本一高冷地の草地利用による 大根「涼太」の栽培事例

雪印種苗(株) 関東事業部

園芸推進室 室長 新海 和夫



長野県 長門牧場

## 1 はじめに

近年、ダイコン産地が連作により移動し始めている中、酪農草地利用による24年間の長きにわたり、ダイコン栽培を続けている優良事例を紹介させていただきます。

## 2 日本一の高冷地ダイコン「丸山農園」の概況

### 栽培地 協力牧場

長野県小県郡長門町 町営長門牧場 240 ha

### 大根栽培農園 丸山農園

信州小諸市より約60分、諏訪湖へ抜ける途中、白樺高原をバックに雄大に広がる長門牧場にて240haのうち毎年20haダイコン栽培を手掛けています。標高は1,450mであり、ダイコン栽培では日本一の高冷地栽培です。

**土壤条件** 火山灰土壌による草地利用のため、ダイコン利用にはかなり良い条件です。難点はやはり石が多い点です。

## 3 草地利用によるダイコン栽培方法

### 1) 牧場との共存共栄

丸山農園では、24年前、同じ地域にある町営長門に目をつけた。

標高1,450mでのダイコン栽培では病害虫もでにくく、無農薬有機栽培に限りなく近い栽培が可能です。さらに、240haの牧草地への輪作草地更新のお手伝いもでき、まさに1石2鳥です。

このように、丸山農園では、2年に1回、良いダイコンができたお礼に草地更新してお返ししています。

### 2) 丸山農園によるダイコン栽培方法

#### ①土づくり

ダイコン栽培を利用する予定地の秋に良い堆肥(良い土づくりのために堆肥づくりに熱心)をたっぷり入れ、プラウによる天地返しをして、雪解けを待って、石ひろい・整備を入念に行い、6月上旬までにじっくりと整地をし、6月下旬の播種を迎える。

#### ②施肥方法

堆肥・鶏ふんをたっぷり利用しながら、極力、有機栽培を心掛けられています。

(土改資材) 牛ふん堆肥…1,000 kg/10 a

鶏ふん……… 200 kg/10 a

ヨウリン… 100 kg/10 a

(元肥) ホウ素入り有機化成(8-8-8)…60 kg/10 a

FTE ヨウリン …… 20 kg/10 a

#### ③品種選定

(平成3年)「耐病総太」が中心で、1部「献夏」。

※「涼太」試験栽培開始し、揃性良く、肌、肉質ともに良いと導入検討開始。

(平成4年)「涼太」を導入し、中心品種となる。

※「涼太」、秀品率高まる。

(平成5年)「涼太」がメインとなる。

※「涼太」のコート種子1部導入となる。

早播きにパオパオ資材べたがけ利用開始。

#### ④播種方法

ごんべえなどの播種機を利用しながら、2~3粒点播し、間引きによる露地栽培が中心で、極めて自然に近い「健康ダイコン」栽培です。

最近は、省力栽培としてコート種子導入なども検討しています。

#### ⑤作付ローテーション (図1参照)

約20haのダイコン栽培を2年栽培しながら、草

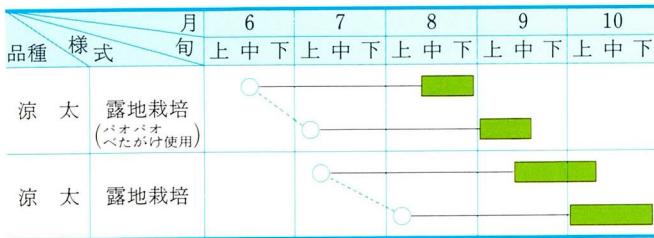


図1 ダイコンの作型（長野県丸山農園）

○…○播種期、 ■…■収穫期

地更新をする方法を導入しています。6月下旬から8月上旬まで播種し、遅播きは短根になりやすいため注意しています。

#### ⑥出荷方法、出荷先

20 haという大面積のため、収穫機の導入など、積極的な展開がなされています。

出荷先は中京・関西市場がメインです。出荷期は8~10月中旬と、東北、北海道などの産地がぶつかりますが、輸送時間も短く新鮮で、有機栽培のため味が良く好評です。また、「涼太」を導入し、揃性良く、秀品率も高くなり、収益性でも大きく向上したとのことです。

### 4 草地利用によるメリット

#### 〈ダイコンへのメリット〉

##### 1) センチュウによる被害がない

昔から、牧草、稻、麦の後作にはセンチュウが少ないといわれております。時に私どもが開発した乾草用エン麦「ヘイオーツ」の後作にはセンチュウに対してマリーゴールド以上の効果があると北海道立中央農試より報告されています。

草地利用の第1のメリットは土が汚染されてお



写真1 ダイコン播種準備中の草地後地

らず、クリーンであるということです。

#### 2) 草地の後は、土がやわらかく、ダイコンにやさしい土である

草地利用の場合、堆肥などの有機質がたっぷりと入っているために土が団粒構造となり、ふくらとしてダイコンにやさしく、ふたまたダイコンなど奇形ダイコンができるにくい。

#### 〈草地へのメリット〉

ダイコン栽培の後地には雑草が少なく、また、ダイコン栽培により深耕しされ、肥料、ミネラル分も多く、大変に良い草地となる。まさに理想的な草地更新となります。

### 5 今後の課題

1) 草地利用1年前より対抗作物「ヘイオーツ」栽培を実施することにより、牧場は良質のエン麦乾草を利用でき、ダイコンにとってクリーンな土となり、根量も少なく、条件が良くなるために検討中です。

2) 早期収穫出荷のために、6月下旬播きに対し、パオパオなどのべたがけ資材を利用し、抽苔安定策を検討中であった。

3) 播種、間引き労力省力のために、種子コート利用を播種期を含め、真剣に対応中であった。

4) 日本一の高冷地有機栽培ダイコンとして、有利に差別化販売するためのブランド物流システムの開発に私どもも微力ながら努力し、協力を惜しまない覚悟です。

### 6 おわりに

草地というのは、土壤消毒、農薬をほとんど使わないため、非常にクリーンな状況にあり、また、地力もついてきたため、熟成としての野菜、園芸利用が可能となっています。

片方では、連作、連作でヘトヘトな土となり、根物産地は転々と移動しています。

このようなかんじ、長野県長門牧場と丸山農園との地域内の草地利用によるダイコン栽培は明るい優良事例と言えましょう。優良品種「涼太」の積極的な利用と、畜産農家と園芸農家の共存共栄を強く祈念いたしております。